



平成27年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年7月6日

上場会社名 株式会社バイク王&カンパニー 上場取引所 東
 コード番号 3377 URL <http://www.8190.co.jp/company/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 石川秋彦
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員 コーポレート部門担当 (氏名) 竹内和也 (TEL) 03-6803-8855
 四半期報告書提出予定日 平成27年7月9日 配当支払開始予定日 平成27年8月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年11月期第2四半期の業績(平成26年12月1日～平成27年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年11月期第2四半期	8,937	△11.5	164	4.6	211	△11.7	121	△5.7
26年11月期第2四半期	10,093	0.0	156	△16.5	239	△12.3	129	△13.3
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円	銭	円	銭				
27年11月期第2四半期	8	81	-	-				
26年11月期第2四半期	9	36	9	35				

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年11月期第2四半期	5,690	4,191	73.7
26年11月期	5,661	4,138	73.1

(参考) 自己資本 27年11月期第2四半期 4,191百万円 26年11月期 4,138百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
26年11月期	-	5.00	-	5.00	10.00	
27年11月期	-	5.00				
27年11月期(予想)			-	5.00	10.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年11月期の業績予想(平成26年12月1日～平成27年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	18,357	△4.8	297	59.7	383	24.9	223	56.4	16	20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

27年11月期2Q	15,315,600株	26年11月期	15,315,600株
27年11月期2Q	1,500,000株	26年11月期	1,500,000株
27年11月期2Q	13,815,600株	26年11月期2Q	13,790,089株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
追加情報	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(セグメント情報等)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(重要な後発事象)	9
4. 補足情報	10
生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、原油価格下落の影響、政府の経済政策の効果や雇用・所得環境の改善等により緩やかな回復基調で推移いたしました。海外景気の下振れによる国内景気への影響が懸念される等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社が属するバイク業界におきましては、国内におけるバイクの新車販売台数は約42万台（平成25年実績、出所：一般社団法人日本自動車工業会）となっており、前年よりも4%増加しておりますが、バイク保有台数は1,182万台（平成25年3月末現在、出所：一般社団法人日本自動車工業会）となっており全体として微減傾向にあります。

このような市場環境のもとで、当社はお客様へのサービスにおいて面と時間軸の広がりを意識した行動を取ることによってお客様の満足度の充実を図るべく、新たなビジョンとして「バイクライフの生涯パートナー」を掲げました。具体的には、お客様であるライダーの皆様に長期に渡って当社を利用していただける体制を構築することで、従来の顧客層へのサービス向上とともに、当社にとって新たな顧客である乗り換え層を開拓することを目指しております。

上記に掲げたビジョンのもと、バイク買取事業とバイク小売事業を融合し、効率的且つ最適な事業運営を推進するとともに、利益に直結する業務管理体制の整備・強化を進めた結果、バイク買取事業においては販売台数が前年同期を下回りましたが、バイク小売事業において販売台数は前年同期を上回りました。

また、全社において販売費及び一般管理費の抑制に取り組むことで、利益の確保に努めました。

以上の結果、売上高8,937,476千円（前年同期比11.5%減）、営業利益164,124千円（前年同期比4.6%増）、経常利益211,808千円（前年同期比11.7%減）、四半期純利益121,659千円（前年同期比5.7%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<バイク買取事業>

バイク買取事業に関しては、効率的な事業運営体制の構築に努めたこと等から、販売台数は前年同期を下回りました。また、当社の主な顧客層における保有車輛の品質に変化がみられること等から、一台当たりの粗利率の改善は図りましたが、平均売上単価（一台当たりの売上高）は前年同期を下回り、平均粗利額（一台当たりの粗利額）は前年同期をやや下回る結果となりました。

以上の結果、直営店舗数は52店舗、セグメント間取引消去前の売上高は7,442,698千円（前年同期比13.7%減）、経常利益は110,254千円（前年同期比53.0%減）となりました。

<バイク小売事業>

バイク小売事業に関しては、平成26年9月に行った小売販売店1店舗の出店により販売台数は前年同期を上回りました。また、平均売上単価は前年同期並みとなり、平均粗利額は前年同期を上回りました。

以上の結果、直営店舗数は12店舗、セグメント間取引消去前の売上高は2,520,610千円（前年同期比7.4%増）、経常利益は110,946千円（前年同期は3,368千円の経常利益）となりました。

<駐車場事業>

駐車場事業に関しては、引き続き既存事業地の収益力向上と採算性を重視した事業地開発を推進するとともに、不採算事業地を閉鎖いたしました。

以上の結果、セグメント間取引消去前の売上高は391,142千円（前年同期比2.0%減）、経常損失は9,392千円（前年同期は1,792千円の経常利益）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べて114,332千円増加し、4,136,181千円となりました。これは主に、商品が402,722千円増加し、現金及び預金が174,915千円減少したためであります。固定資産は、前事業年度末に比べて85,255千円減少し、1,554,423千円となりました。これは主に、減価償却等により「有形固定資産」が41,071千円、敷金及び保証金、繰延税金資産の減少により「投資その他の資産」が33,857千円減少したためであります。

（負債）

流動負債は、前事業年度末に比べて6,553千円減少し、1,218,454千円となりました。これは主に、未払金が52,113千円、未払消費税の減少や前受金の増加等により「その他」が57,351千円減少し、買掛金が67,576千円、賞与引当金が43,256千円増加したためであります。固定負債は、前事業年度末に比べて、16,952千円減少し、280,738千円となりました。これは主に、長期リース債務等の減少により「その他」が13,736千円減少したためであります。

（純資産）

純資産は、前事業年度末に比べて52,581千円増加し、4,191,411千円となりました。これは、利益剰余金が52,581千円増加（株主配当69,078千円、四半期純利益121,659千円）したためであります。

この結果、自己資本比率は73.7%となりました。

（キャッシュ・フローについて）

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度末に比べ、174,915千円減少し、2,134,909千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において、営業活動の結果使用した資金は85,782千円（前年同期は380,138千円の獲得）となりました。これは主に、たな卸資産の増加389,527千円、未払金の減少46,469千円、法人税等の支払27,527千円により資金が減少し、税引前四半期純利益207,279千円、減価償却費103,482千円、仕入債務の増加67,576千円により資金が増加したためであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において、投資活動の結果獲得した資金は8,799千円（前年同期は27,620千円の使用）となりました。これは主に、敷金及び保証金の回収による収入91,936千円により資金が増加し、有形固定資産の取得による支出48,695千円により資金が減少したためであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において、財務活動の結果使用した資金は97,932千円（前年同期は100,225千円の使用）となりました。これは、配当金の支払68,962千円、リース債務の返済による支出28,969千円があったためであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成27年1月9日に公表いたしました決算短信に記載の業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

追加情報

(表示方法の変更)

車輛配送費、物流センターの家賃および減価償却費、整備スタッフの人件費について、従来、「販売費及び一般管理費」に含めて計上していましたが、第1四半期累計期間より「売上原価」に含めて計上することに変更いたしました。

これは、新車販売台数の鈍化やバイクユーザーの車輛保有期間の長期化傾向が顕著となること等にもない経年劣化により買取車輛の品質が低下するという当社を取り巻く外部環境の変化を受け、当期からバイク買取事業と小売事業を統合しバイクライフプランニング事業部とする組織変更を行ったこと、また、商品流通事業部の機能を強化し、車輛の整備および物流費用を一元的に管理する方針としたことから、当該費用を主たる営業活動による収益獲得のために直接に要した原価として明確に表示することで経営成績をより適切に表示するために行うものであります。

この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期累計期間の四半期損益計算書の組替を行っております。

この結果、前第2四半期累計期間の四半期損益計算書において、「販売費及び一般管理費」に表示していた521,474千円は、「売上原価」として組み替えております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年11月30日)	当第2四半期会計期間 (平成27年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,309,825	2,134,909
売掛金	241,354	262,272
商品	919,324	1,322,047
貯蔵品	23,531	8,753
その他	528,276	408,228
貸倒引当金	△463	△30
流動資産合計	4,021,849	4,136,181
固定資産		
有形固定資産	858,818	817,747
無形固定資産	65,314	54,987
投資その他の資産	715,546	681,688
固定資産合計	1,639,679	1,554,423
資産合計	5,661,529	5,690,605
負債の部		
流動負債		
買掛金	162,736	230,313
短期借入金	100,000	100,000
未払金	425,726	373,613
未払法人税等	27,700	29,800
賞与引当金	—	43,256
その他の引当金	12,145	2,124
その他	496,699	439,347
流動負債合計	1,225,007	1,218,454
固定負債		
資産除去債務	215,917	212,702
その他	81,773	68,036
固定負債合計	297,690	280,738
負債合計	1,522,698	1,499,193
純資産の部		
株主資本		
資本金	590,254	590,254
資本剰余金	609,877	609,877
利益剰余金	3,334,508	3,387,090
自己株式	△395,810	△395,810
株主資本合計	4,138,830	4,191,411
純資産合計	4,138,830	4,191,411
負債純資産合計	5,661,529	5,690,605

（2）四半期損益計算書

第2四半期累計期間

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自平成25年12月1日 至平成26年5月31日）	当第2四半期累計期間 （自平成26年12月1日 至平成27年5月31日）
売上高	10,093,399	8,937,476
売上原価	5,435,694	4,564,973
売上総利益	4,657,704	4,372,502
販売費及び一般管理費	4,500,735	4,208,378
営業利益	156,968	164,124
営業外収益		
受取利息	756	846
クレジット手数料収入	25,224	27,845
その他	59,810	21,603
営業外収益合計	85,790	50,294
営業外費用		
支払利息	2,629	1,822
その他	347	787
営業外費用合計	2,977	2,610
経常利益	239,781	211,808
特別利益		
固定資産売却益	2	17
新株予約権戻入益	119	—
特別利益合計	122	17
特別損失		
固定資産売却損	—	91
固定資産除却損	1,594	3,469
減損損失	5,442	—
賃貸借契約解約損	—	987
特別損失合計	7,037	4,547
税引前四半期純利益	232,867	207,279
法人税、住民税及び事業税	23,260	17,858
法人税等調整額	80,562	67,761
法人税等合計	103,822	85,619
四半期純利益	129,044	121,659

（3）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自平成25年12月1日 至平成26年5月31日）	当第2四半期累計期間 （自平成26年12月1日 至平成27年5月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	232,867	207,279
減価償却費	121,644	103,482
減損損失	5,442	—
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△779	△433
賞与引当金の増減額（△は減少）	43,076	43,256
受取利息及び受取配当金	△756	△846
支払利息	2,629	1,822
固定資産除却損	1,594	3,469
固定資産売却損益（△は益）	△2	73
賃貸借契約解約損	—	987
売上債権の増減額（△は増加）	△43,682	△26,333
たな卸資産の増減額（△は増加）	16,764	△389,527
仕入債務の増減額（△は減少）	△6,765	67,576
未払金の増減額（△は減少）	6,815	△46,469
その他	48,761	△21,646
小計	427,610	△57,308
利息及び配当金の受取額	783	876
利息の支払額	△2,595	△1,822
法人税等の支払額	△45,660	△27,527
営業活動によるキャッシュ・フロー	380,138	△85,782
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△57,262	△48,695
無形固定資産の取得による支出	△11,028	△3,641
敷金及び保証金の差入による支出	△1,669	△10,026
敷金及び保証金の回収による収入	83,920	91,936
建設協力金の支払による支出	△10,000	—
その他	△31,580	△20,773
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27,620	8,799
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△32,213	△28,969
新株予約権の行使による株式の発行による収入	741	—
配当金の支払額	△68,752	△68,962
財務活動によるキャッシュ・フロー	△100,225	△97,932
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	252,292	△174,915
現金及び現金同等物の期首残高	2,120,660	2,309,825
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,372,953	2,134,909

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

前第2四半期累計期間（自 平成25年12月1日 至 平成26年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	バイク 買取事業	バイク 小売事業	駐車場事業	合計	調整額	四半期 損益計算書 計上額(注)
売上高						
外部顧客への売上高	7,360,905	2,333,720	398,773	10,093,399	—	10,093,399
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,261,676	13,239	360	1,275,275	△1,275,275	—
計	8,622,581	2,346,959	399,133	11,368,674	△1,275,275	10,093,399
セグメント利益	234,621	3,368	1,792	239,781	—	239,781

(注) 報告セグメントのセグメント利益の合計金額は、四半期損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「バイク買取事業」セグメントおよび「駐車場事業」セグメントにおいて、営業活動から生ずるキャッシュ・フローが継続してマイナスとなっている、今後の改善が困難と見込まれる事業所等における事業用固定資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。当該減損損失の計上額は、当第2四半期累計期間においては、「バイク買取事業」セグメントで2,164千円、「駐車場事業」セグメントで3,278千円あります。

当第2四半期累計期間（自 平成26年12月1日 至 平成27年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	バイク 買取事業	バイク 小売事業	駐車場事業	合計	調整額	四半期 損益計算書 計上額(注)
売上高						
外部顧客への売上高	6,028,069	2,518,624	390,782	8,937,476	—	8,937,476
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,414,629	1,985	360	1,416,975	△1,416,975	—
計	7,442,698	2,520,610	391,142	10,354,451	△1,416,975	8,937,476
セグメント利益又は損失(△)	110,254	110,946	△9,392	211,808	—	211,808

(注) 報告セグメントのセグメント利益又は損失(△)の合計金額は、四半期損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

当第2四半期累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメントの名称	前第2四半期累計期間 (自 平成25年12月1日 至 平成26年5月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成26年12月1日 至 平成27年5月31日)
バイク買取事業	7,360,905	6,028,069
バイク小売事業	2,333,720	2,518,624
駐車場事業	398,773	390,782
合計	10,093,399	8,937,476

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 当第2四半期累計期間の主な相手先別の販売実績および当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第2四半期累計期間 (自 平成25年12月1日 至 平成26年5月31日)		当第2四半期累計期間 (自 平成26年12月1日 至 平成27年5月31日)		関連するセグメント名
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)	
㈱ジャパンバイクオークション	5,048,453	50.0	4,756,178	53.2	バイク買取事業 バイク小売事業
㈱ビーディーエス	1,755,786	17.4	974,287	10.9	バイク買取事業 バイク小売事業

3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。